

2024年4月19日

地域貢献を目指す奨学生への支援プログラムを開始

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、このたび、次世代育成支援の一環として2023年に設立した「JEES・住友金属鉱山地域貢献奨学金」の第1期生20名を対象に、地域社会貢献の実践に向けて自ら学ぶことを支援するプログラムを開始しました。

プログラムは、1stステップ「発見する」（地域貢献とは何か？どのような視点や考え方があるのかを発見する）、2ndステップ「深掘る」（発見したことをさらに深める）、3rdステップ「関わる」（各自が希望する地域とテーマで実際に地域貢献に関わる）の3段階で構成され、各ステップで効果検証を行い、プログラム内容の改善をしながら進めていきます。

3月26日～27日、住友金属鉱山の事業所が複数所在する愛媛県新居浜市において、プログラムの1stステップ「発見する」を開催しました。北海道から九州までの各地から集まった奨学生は、初日に旧別子銅山（愛媛県新居浜市）の産業遺構や歴史展示施設を見学し、同地域の発展に旧別子銅山の強いつながりがあった地域特性を学びました。二日目は、新居浜市に隣接する西条市内の団体・企業の代表者からの講演と対話のほか、新居浜市内で地域貢献に取り組む個人・団体・企業経営者を訪問しインタビューをしました。最後に、「地域貢献とは」というテーマでグループ討議を行い、「まずは自分の興味関心があることからスタートする。その分野における地域の課題をよく知り、解決の方法を検討していく」、「地域貢献は、人それぞれ。一つの正解、やり方はない」などの振り返りが発表されました。

今後、次のステップ「深掘る」を開催し、約1年半のスケジュールで奨学生が地域社会貢献にどのように取り組むかについての成果報告会まで進める予定です。住友金属鉱山は、2030年のありたい姿の一つとして「地域社会の一員として地域の発展に貢献し信頼を得る企業」を掲げています。今回のプログラムにより、学校やクラブ活動だけではできない体験を提供し、学生が希望する地域での社会貢献活動の支援を目指します。

(参考)

1. JEES・住友金属鉱山地域貢献奨学金制度概要

募集対象	指定大学の学士課程 1 年次又は 2 年次、及び指定高等専門学校の本年第 4 学年に正規生として在籍し、住友金属鉱山株式会社の事業立地地域の東京都多摩地区、兵庫県、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある日本人学生
募集人数	20 名
給付額	月額 10 万円、年間 120 万円
給付期間	在籍課程修了まで

2. 2030 年のありたい姿重要課題 9「地域社会との共存共栄」について

<https://www.smm.co.jp/sustainability/management/community/>

3. 公益財団法人日本国際教育支援協会 (JEES) について

日本人学生および外国人留学生への支援事業等を行う公益財団法人。その事業の一つとして企業または個人等からの寄付を原資に寄付者の名を冠した「冠奨学金事業」を実施。

以上

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705